

戦略	2 交流を支える地域を創出する																		
施策	1 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備																		
担当部局	土木部				担当課	都市計画課													
将来像	魅力あるまちなみが整備され、地域が活性化している。																		
数値目標	指標名	まちなみや景観が良くなっていると思う人の割合					現計画からの引継	-											
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標											
		-		37% (H27年度)		-		-											
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)											
		37% (H27年度)	38%	39%	40%	41%	42%	42% (H32年度)											
	指標設定の理由	<p>魅力あるまちなみを整備することは、地域住民が地域のまちなみや景観が良くなったと実感し、地域に愛着を持つ住民が増え、また、観光客が訪れたい魅力ある地域の創出に資することから、交流人口が拡大し地域の活性化につながる。よって、成果指標として、まちなみや景観が良くなっていると思う人の割合を設定し、地域の活性化に寄与していくものである。</p>																	
目標値の設定根拠	<p>平成27年度に実施した「長崎県内の『まちなみ』や『景観』が、5年前に比べて良くなっていますか」との県民アンケートによる数値に基づき、「変わらない」及び「わからない」と回答した人の割合約50%のうち、その1割にあたる5%の人が、今後、「良くなった」又は「どちらかといえば良くなった」との回答が得られることを目標とする。このために、毎年度1%ずつの増加を目標とする。</p> <p>H27.10に実施したアンケートの集計結果</p> <p>【設問】長崎県の「まちなみ」や「景観」が5年前と比べて良くなったと感じますか。</p> <p>【結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>良くなった</th> <th>どちらかといえば良くなった</th> <th>変わらない</th> <th>どちらかといえば悪くなった</th> <th>悪くなった</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.0%</td> <td>30.7%</td> <td>38.7%</td> <td>11.4%</td> <td>3.4%</td> <td>9.8%</td> </tr> </tbody> </table>							良くなった	どちらかといえば良くなった	変わらない	どちらかといえば悪くなった	悪くなった	わからない	6.0%	30.7%	38.7%	11.4%	3.4%	9.8%
良くなった	どちらかといえば良くなった	変わらない	どちらかといえば悪くなった	悪くなった	わからない														
6.0%	30.7%	38.7%	11.4%	3.4%	9.8%														
指標データの参照元	統計名など	長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査		更新時期 スパン	毎年5月														

戦 略	2 交流を支える地域を創出する																																								
施 策	1 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備																																								
事業群	1 新幹線開業に向けた駅周辺の整備					担当部局 担当課	土木部 都市計画課																																		
数値目標	指標名	新幹線駅周辺整備の進捗状況(面積)					現計画からの引継	-																																	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標																																	
		-		3% (H26年度)		-		-																																	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)																																	
		3% (H26年度)	4%	10%	11%	29%	44%	44% (H32年度)																																	
	指標設定 の理由	新幹線開業時に完成することを目指して進めている新幹線駅(長崎駅、諫早駅、新大村(仮称)駅)周辺のハード整備の取り組みであることから、平成34年の新幹線開業に向けた事業の進捗率を指標とする。																																							
目標値の 設定根拠	<p>新幹線駅の再整備として、長崎駅では土地区画整理事業、諫早駅では市街地再開発事業、新大村(仮称)駅では土地区画整理事業が、市事業として実施されることとなっており、事業区域の宅地や都市施設等の再整備の面積ベースの進捗率を指標とし、新幹線開業時(H34)に概成することを目指した進捗率を目標値としている。</p> <p>参考</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全体面積 (ha)</th> <th colspan="2">基準年(H26)</th> <th colspan="2">目標年(H32)</th> </tr> <tr> <th>面積(ha)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>面積(ha)</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎駅</td> <td>19.2</td> <td>0.8</td> <td>4.2</td> <td>6.4</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>諫早駅</td> <td>1.9</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>1.7</td> <td>89.5</td> </tr> <tr> <td>新大村(仮称)駅</td> <td>9.6</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>5.3</td> <td>55.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30.7</td> <td>0.8</td> <td>2.6</td> <td>13.4</td> <td>43.6</td> </tr> </tbody> </table>								全体面積 (ha)	基準年(H26)		目標年(H32)		面積(ha)	進捗率(%)	面積(ha)	進捗率(%)	長崎駅	19.2	0.8	4.2	6.4	33.3	諫早駅	1.9	0.0	0.0	1.7	89.5	新大村(仮称)駅	9.6	0.0	0.0	5.3	55.2	合計	30.7	0.8	2.6	13.4	43.6
	全体面積 (ha)	基準年(H26)		目標年(H32)																																					
		面積(ha)	進捗率(%)	面積(ha)	進捗率(%)																																				
長崎駅	19.2	0.8	4.2	6.4	33.3																																				
諫早駅	1.9	0.0	0.0	1.7	89.5																																				
新大村(仮称)駅	9.6	0.0	0.0	5.3	55.2																																				
合計	30.7	0.8	2.6	13.4	43.6																																				
指標データの 参照元	統計名 など	-			更新時期 スパン	-																																			

戦 略	2 交流を支える地域を創出する								
施 策	1 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備								
事業群	2 長崎らしい景観形成・まちなみ環境整備の推進						担当部局 担当課	土木部 都市計画課	
数値目標	指標名	景観計画策定団体数(累計)						現計画か らの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		4市町 (H22年度)		9市町 (H26年度)		5市町		14市町 (H27年度)	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		9市町 (H26年度)	13市町	14市町	15市町	16市町	17市町	17市町 (H32年度)	
	指標設定 の理由	地域の景観形成は、地域の詳細を把握する市町が主体となることが望ましく、市町が景観行政団体となり、景観法に基づく景観計画を策定することで適正な規制・誘導が期待されるため。							
	目標値の 設定根拠	(県目標)景観計画策定率 17市町/21市町(県内対象団体) 80% 【参考】全国最高率の神奈川県69.7%(=23市町村/33市町村)に+10%程度							
指標データ の参照元	統計名 など	国土交通省HP 「景観法の施行状況」			更新時期 スパン	半年			

戦 略	2 交流を支える地域を創出する							
施 策	1 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備							
事業群	3 県庁舎跡地整備の推進					担当部局 担当課	企画振興部 まちづくり推進室	
数値目標	指標名	県庁舎跡地活用に関する整備の推進					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		未着手		未着手		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		-	-	-	-	-	-	期間中の着手
	指標設定 の理由	<p>・跡地の整備は、平成29年9月の県庁舎完成後、移転、解体、埋蔵文化財調査を経た後に、着手することとなる。現在の想定では、平成30年度末までには埋蔵文化財調査に着手できる見込みであるが、調査に要する期間は、本館直下は攪乱されていることを前提に、本館敷地を除く、玄関前駐車場部分ほかの面積を対象に実施した場合、半年～1年程度必要となる。具体的期間は、整備の場所や内容、埋蔵物の出土状況、本館直下の攪乱状況等にも左右され、さらに長くなる可能性がある。</p> <p>・よって、交流人口の拡大等の整備効果を発現するため、着実に検討を進め、総合計画の計画期間内に整備に着手することを目標として設定した。</p>						
目標値の 設定根拠	同上							
指標データの 参照元	統計名 など	起工式の開催		更新時期 スパン	起工時点			

戦略	2 交流を支える地域を創出する							
施策	2 文化・スポーツによる地域活性化							
担当部局	文化観光国際部				担当課	文化振興課		
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の誇りとなる魅力ある文化・芸術活動が定着している。 ・スポーツによる地域活性化・地域ブランド化が実現している。 ・スポーツツーリズムにより交流人口が拡大している。 							
数値目標	指標名	祭りや演奏会、展覧会など地域文化や伝統芸能を活かしたイベントに出演または参加した人の割合					現計画からの引継	
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		18.2% (H22年度)		16% (H26年度)		2.2%		25% (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		16% (H26年度)	16.5%	17%	18%	19%	20%	20% (H32年度)
	指標設定の理由	現総合計画でも同じ指標を目標として掲げ事業を推進していたところである。県内各地の多彩な歴史と豊かな自然に恵まれた特色ある資源を活かし、文化・芸術による人材育成や地域づくりを推進する必要がある、引続き目標として設定することが妥当と判断したため。						
目標値の設定根拠	平成26年度の実績値16%を基準値として、毎年約1%の増を目指し、目標年までに県民の5人に1人は文化的活動に触れる機会を創出する。							
指標データの参照元	統計名など	独自アンケート調査			更新時期 スパン	毎年3月		

戦略	2 交流を支える地域を創出する							
施策	2 文化・スポーツによる地域活性化							
担当部局	企画振興部				担当課	スポーツ振興課		
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の誇りとなる魅力ある文化・芸術活動が定着している。 ・スポーツによる地域活性化・地域ブランド化が実現している。 ・スポーツツーリズムにより交流人口が拡大している。 							
数値目標	指標名	スポーツコンベンション参加者数					現計画からの引継	
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		18.9万人 (H21年度)		21.4万人 (H26年度)		2.5万人 (13%上昇)		20万人 (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		21.4万人 (H26年度)	22.1万人	22.8万人	23.5万人	24.2万人	25万人	25万人 (H32年度)
	指標設定の理由	長崎がらんば国体などにより整備されたスポーツ施設や育成された人材、運営ノウハウ等を活用して、大型スポーツイベントの誘致・開催を増やすことにより、交流人口の更なる拡大を目指すことから、スポーツコンベンションの参加者を指標に設定する。						
目標値の設定根拠	スポーツコンベンション参加者数のH26実績をもとに、5年後に15%以上の増加を見込む。							
指標データの参照元	統計名など	県観光連盟調査及び市町照会による調査			更新時期 スパン	毎年5月頃		

戦 略	2 交流を支える地域を創出する							
施 策	2 文化・スポーツによる地域活性化							
事業群	1 文化・芸術による地域づくり					担当部局 担当課	文化観光国際部 文化振興課	
数値目標	指標名	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		0市町 (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		0市町 (H26年度)	5市町	9市町	13市町	17市町	21市町	21市町 (H32年度)
	指標設定 の理由	県美術館や長崎歴史博物館から遠隔地に生活する県民が、長崎の歴史文化に触れたり、美術品等の芸術鑑賞ができる機会を提供していく必要があることから、その成果として移動展や遠隔授業を実施していない市町数をゼロにすることが目標として妥当であると判断したため。						
目標値の 設定根拠	県美術館・長崎歴史文化博物館が設置されている長崎市を除く県内20市町において移動展、遠隔授業等を5年間で実施し、長崎市で開催する本展と合わせて県内全市町で実施する。							
指標データの 参照元	統計名 など	実施報告書			更新時期 スパン	毎年度3月		

戦 略	2 交流を支える地域を創出する																						
施 策	2 文化・スポーツによる地域活性化																						
事業群	2 伝統文化の継承と文化財の保存・活用					担当部局 担当課	教育庁 学芸文化課																
数値目標	指標名	国や県の指定等となった文化財の数					現計画か らの引継																
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標															
		601件 (H21年度)		665件 (H26年度)		64件(11%)増		650件 (H27年度)															
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)															
		665件 (H26年度)	681件	689件	697件	705件	713件	713件 (H32年度)															
	指標設定 の理由	県内に潜在する文化財を顕在化し、法令に基づき国や県指定が行われることによつて、その指定に基づく補助事業や定例的な巡視により文化財の保全が図られ、かつ、文化財を守るという環境が醸成されるため。																					
	目標値の 設定根拠	<p>新たに国・県指定となった文化財数の過去3か年平均である年間8件増を目指す。</p> <p>新たに国指定・県指定となった文化財数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定</td> <td>6件</td> <td>3件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>県指定</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8件</td> <td>9件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3か年平均 8.3件</p>								平成24年度	平成25年度	平成26年度	国指定	6件	3件	5件	県指定	2件	6件	3件	合計	8件	9件
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																				
国指定	6件	3件	5件																				
県指定	2件	6件	3件																				
合計	8件	9件	8件																				
指標データ の参照元	統計名 など	国や県の指定等となった文化財数		更新時期 スパン	国や県の指定等となり次第、随時更新																		

戦略	2 交流を支える地域を創出する								
施策	2 文化・スポーツによる地域活性化								
事業群	3 国内外から注目されるスポーツキャンプ等の拠点づくり						担当部局 担当課	企画振興部 スポーツ振興課	
数値目標	指標名	キャンプ地拠点設置数						現計画からの引継	-
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		0拠点(H26年度)		0拠点(H26年度)		-		-	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		0拠点 (H26年度)	1拠点	2拠点	3拠点	4拠点	4拠点	4拠点 (H32)	
	指標設定 の理由	<p>本県においては、スポーツを活用したまちづくりや地域活性化を図るため、プロや実業団・大学生のトップレベルのチームのスポーツ合宿及びキャンプ地の誘致に取り組んでいるが、実績がある先進地と比べると誘致団体数も非常に乏しい。 誘致にあたってはハード(施設)やソフト(助成制度等)の両面が必要であり、先進地を上回る整備をすることで、誘致団体の増加が図られると考えられるため、キャンプ地拠点設置数を指標とした。</p>							
	目標値の 設定根拠	<p>1. 「拠点」の定義について チームを誘致する難易度によって以下のとおりチーム種別ごとにポイントを振り分け、市町が選定する競技における県外の誘致団体の合計ポイントが100ポイント以上を「拠点」とする。なお、100ポイントは、平成26年度において県内市町で最もポイントが高かった長崎市の2倍程度に設定している。</p> <p>2. チーム種別とそのポイントについて 大学生チーム(1p)、社会人チーム(2p)、実業団チーム(5p)、プロチーム(10p)、国内ナショナルチーム(12p)、海外チーム(ナショナルチーム除く)(20p)、海外ナショナルチーム(50p) 対象を大学生以上と設定しているのは、「スポーツ・地域にぎわいづくり推進事業補助金」の対象団体としているため。</p> <p>3. 各市町の受入状況 (H25) 長崎市(15チーム:47p)、島原市(7チーム:20p)、壱岐市(18チーム:51p)、五島市(9チーム:38p)、大村市(受入なし)・西海市(県内チームのみ)、雲仙市(大学生以上の誘致なし)、南島原市(受入なし)、長与町(受入なし)、時津町(受入なし)、川棚町(2チーム:40p)、波佐見町(受入なし)、小値賀町(県内1高校のみ)、佐々町(受入なし)、新上五島町(1t:1p) (H26) 長崎市(26チーム:46p)、島原市(7チーム:20p)、壱岐市(28チーム:36p)、五島市(12チーム:43p)、大村市(受入なし)・西海市(県内チームのみ)、雲仙市(2チーム:2p)、南島原市(受入なし)、長与町(受入なし)、時津町(受入なし)、川棚町(2チーム:20p)、波佐見町(受入なし)、小値賀町(県内1高校のみ)、佐々町(受入なし)、新上五島町(高校チームのみ)</p> <p>4. 他自治体の受入状況 宮崎市(H26)では、Jリーグやプロ野球を中心にプロチームを15チーム受け入れている(150pt)。 網走市(H25)では、実業団ラグビーチーム11チーム、社会人陸上(実業団含む)29チーム及び大学陸上3チームを中心に受け入れている(116pt)。</p>							
	指標データの 参照元	統計名 など	長崎県スポーツ合宿に関する調査 (市町への照会)			更新時期 スパン	毎年6月下旬		

戦 略	2 交流を支える地域を創出する								
施 策	2 文化・スポーツによる地域活性化								
事業群	4	地域密着型クラブチーム等の活用や「わがまちスポーツ」による地域活性化・交流の推進					担当部局 担当課	企画振興部 スポーツ振興課	
数値目標	指標名	市町とV・ファーレン長崎との連携によるイベント等回数					現計画からの引継	-	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		-		78回 (H26年度)		-		-	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		78回 (H26年度)	95回	110回	125回	140回	155回	155回 (H32年度)	
	指標設定 の理由	市町が地域活性化のためV・ファーレン長崎を活用する指標として、市町とV・ファーレン長崎が連携して実施するイベント等の回数を指標とする。							
	目標値の 設定根拠	基準年(H26年)のイベント等回数が78回であることから、V・ファーレン長崎を地域活性化のために活用する市町への支援により、5年後倍増を目指す。							
指標データの 参照元	統計名 など	V・ファーレン長崎による実績集計			更新時期 スパン	随時			

戦略	2 交流を支える地域を創出する																																		
施策	2 文化・スポーツによる地域活性化																																		
事業群	5 競技スポーツの推進					担当部局 担当課	教育庁 体育保健課																												
数値目標	指標名	国民体育大会順位					現計画からの引継																												
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)	現計画最終目標																												
		31位 (H22年度)		1位 (H26年度)		-	1位 (H26年度)																												
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)																											
		1位 (H26年度)	10位台	20位台	20位台	20位台	20位台	10位台を目指しつつ 20位台定着 (H32年度)																											
	指標設定の理由	<p>本県のスポーツ選手たちが各種大会で活躍する姿は、県民に明るい話題を提供し、夢と活力を与えている。</p> <p>長崎国体に向けて取り組んできた競技力向上対策の成果を一過性のもので終わらせることなく、継承・発展させていくことが重要であり、急激な競技力の低下をまねくことがないよう地域に支えられた一貫性のある競技力向上対策を推進する。</p> <p>国民体育大会はスポーツ基本法に基づいて開催される国内最大のスポーツの祭典であり、正式競技40競技で実施され成年男女・少年男女が競った結果の成績は、各県の競技スポーツ水準を見るうえで大きな指標となりうると判断されるため。</p>																																	
目標値の設定根拠	<p>H26長崎国体では、悲願の男女総合成績1位(天皇杯)を獲得することができたが、長崎県の過去10年間(H17～H26年)の成績をみると最高1位で最低37位、平均22.3位である。また、国体開催の内定前の5年間(H17～H21年)は平均29.2位であり、強化が本格化した内定後の5年間(H22～H26年)は平均15.4位となる。</p> <p>・長崎県・・・内定前 (H17)24位(H18)37位(H19)35位(H20)30位(H21)20位 内定後 (H22)31位(H23)15位(H24)20位(H25)10位(H26)1位</p> <p>次に、先催県の中で地方開催のH19秋田県、H20大分県、H21新潟県の国体開催後の5年間の成績は下記のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(1年後)</th> <th>(2年後)</th> <th>(3年後)</th> <th>(4年後)</th> <th>(5年後)</th> <th>(平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・秋田県・・・</td> <td>23位</td> <td>30位</td> <td>28位</td> <td>19位</td> <td>36位</td> <td>27.2位</td> </tr> <tr> <td>・大分県・・・</td> <td>14位</td> <td>18位</td> <td>24位</td> <td>19位</td> <td>22位</td> <td>19.4位</td> </tr> <tr> <td>・新潟県・・・</td> <td>15位</td> <td>33位</td> <td>22位</td> <td>25位</td> <td>40位</td> <td>27位</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上のことを踏まえ、今後の目標を「10位台を目指しつつ、20位台定着」としている。</p>								(1年後)	(2年後)	(3年後)	(4年後)	(5年後)	(平均)	・秋田県・・・	23位	30位	28位	19位	36位	27.2位	・大分県・・・	14位	18位	24位	19位	22位	19.4位	・新潟県・・・	15位	33位	22位	25位	40位	27位
	(1年後)	(2年後)	(3年後)	(4年後)	(5年後)	(平均)																													
・秋田県・・・	23位	30位	28位	19位	36位	27.2位																													
・大分県・・・	14位	18位	24位	19位	22位	19.4位																													
・新潟県・・・	15位	33位	22位	25位	40位	27位																													
指標データの参照元	統計名 など	国民体育大会男女総合成績 (天皇杯順位)		更新時期 スパン	毎年10月末																														

戦 略	2 交流を支える地域を創出する							
施 策	3 移住施策の強化							
担当部局	企画振興部				担当課	地域づくり推進課		
将来像	移住者が増加している。							
数値目標	指標名	本県への移住者数					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		150人 (H22年度)		140人 (H26年度)		10人 (7%)下降		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		140人 (H26年度)	250人	400人	530人	660人	800人	800人 (H32年度)
	指標設定 の理由	地域活性化や人口減少対策として、本県への移住を促進する必要があることから移住者数を指標とする。						
	目標値の 設定根拠	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「地方へのひとの新しい流れをつくる」に掲げられている「2020年(平成32年)に東京都から地方への転出を4万人増」のうち2%程度を本県へ呼び込む。</p> <p>平成29年度までは現事務事業評価の目標値を踏襲する。(移住促進の取組における先進県の移住者一人当たり予算額を参考に算出)</p>						
指標データの 参照元	統計名 など	地域づくり推進課による調査(市町 への照会等)		更新時期 スパン	毎年5月中旬			

戦 略	2 交流を支える地域を創出する							
施 策	3 移住施策の強化							
事業群	1 長崎県移住戦略の推進					担当部局 担当課	企画振興部 地域づくり推進課	
数値目標	指標名	「ながさき移住倶楽部」の会員登録者数					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		-		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		-	400人	700人	1,000人	1,300人	1,600人	1,600人 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>本県への移住予備軍となる「ながさき移住倶楽部」の会員登録者数を指標とする。</p> <p>「ながさき移住倶楽部」・・・本県への移住に関心がある県外在住の方に対し、移住に関する最新情報をお届けするとともに、レンタカー、宿泊施設、引越等の各種割引や特典サービスを提供する無料の会員制度(平成27年8月1日サービス開始)</p>						
目標値の 設定根拠	<p>現時点で約70人の会員登録があり、平成27年度は約200人の登録が見込まれる。会員へのサービスを提供いただける事業者「ながさき移住応援隊」の拡大を図るとともに、各種施策の充実により毎年200～300人の会員登録を目指す。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	地域づくり推進課が作成する会員 名簿			更新時期 スパン	毎年4月上旬		

戦 略	2 交流を支える地域を創出する							
施 策	3 移住施策の強化							
事業群	2 人財誘致の促進					担当部局 担当課	企画振興部 地域づくり推進課	
数値目標	指標名	「地域おこし協力隊員」で定住につながった人の数(累計)					現計画か らの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		8人 (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		8人 (H26年度)	28人	42人	56人	70人	84人	84人 (H32年度)
	指標設定 の理由	マンパワー不足に苦慮する地域の活性化に向け、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、都会から特色ある人材を呼び込むことによって、地域の魅力アップや産業の活性化を図る。						
目標値の 設定根拠	<p>各市町に採用された隊員のそれぞれの活動によって、配置された地域が変わってきていることは確かであり、このような動きが県内全域に波及するとともに、任期終了後も地域に住み続けることで、大きなうねりとなっていくことを目指している。</p> <p>県内に配置されている「地域おこし協力隊」は、今後、平均して毎年21人が任期終了となる予定であり、その7割が引き続き定住することを目標とする。(21人×0.7=14人/年)</p>							
指標データ の参照元	統計名 など	各市町への照会			更新時期 スパン	随時		